



未来の海上交通を
大きく変革する
「自律航行技術」

AIなどの先進の技術を駆使して「自律航行技術」を開発

「あらゆる水上モビリティを自律化し、海に道をつくる」をミッションに、2021年に設立されたスタートアップで、さまざまな船舶をより安心、安全、便利で、環境にやさしい次世代モビリティへと進化させるため船舶の自律航行技術の開発・販売を行っています。

同社の自律航行システムは、AI、ビジョンシステム、センサーフュージョン、ロボティクス等を駆使して開発指定した目的地に向けてAIで自動ルートを生成し、センサーが他船や障害物検出、危険を回避して船舶を航行させることが可能です。高い操船レベルが求められる離着岸時でも、波や埠頭の状況に応じて適切ルートを生成して全自動で操船することを可能とします。

また、既存船舶にも容易に後付けでき、既存インフラに最新技術を導入して価値を最大化することも可能です。

ミニチュア模型船によるデモンストレーションで自律航行を体感

大阪・関西万博(以下、「万博」という。)では、未来の海上交通の基盤となる「自律航行技術」を20cmサイズの模型船デモンストレーションで展示、AI、センサー技術を組み合わせたシステムによる、安全で効率的な航行の姿を目にしていだけます。

万博出展を機に、自律航行技術の認知向上に加え、自律航行の有効性に係るプロモーションツール拡充への支援、さらには同社技術の社会実装加速に向けた企業や自治体との連携強化に向けた支援を得たいと考えています。

操船者の負担を軽減することで、人手不足の解消へ

現時点で完全自動航行は法令、規制の絡みで実現できていない状況ですが、まずは同社の自律航行技術によって難度の高い離着岸などで操船者をアシストし負担を軽減します。それによって、熟練船員でなくても安全操船が可能となり、技術獲得までの離脱も少なくなることで、船員業務の魅力度を増すことを通じて社会課題である人手不足の解消につながると考えています。万博では日常的に海洋、船舶に接する機会が少ない来場者に、自律航行技術の可能性、社会的価値、面白さを紹介し、本技術が「いのち輝く未来社会」を実現する重要な要素であることを案内します。



自律航行プラットフォーム
「エイトノット AI CAPTAIN」



大阪・関西万博の実演用模型船のイメージ



当社所有の開発艇「Eight Knot 1」

企業概要

所在地 〒591-8025
堺市北区長曾根町130-42
さかい新事業創造センター 313
TEL 072-200-3138
設立年 2021年
資本金 2億4000万円
従業員 22名

公式サイト

さかしる



未来の無人航行の実現に向け、自律航行技術を世界へ訴求



代表取締役 CEO

木村 裕人 さん

大阪は歴史的に「水都」とも呼ばれて水運を利用して発展し、最近でも淀川や道頓堀での河川クルーズはインバウンド客を中心に年間100万人を超える利用者があると聞きます。船舶との親和性が高く、万博の閉幕後もIR(統合型リゾート)の開業が予定されており、観光客の訪問増加が予定される中、多種多様な事業者の方々と連携して新しいコンテンツ、移動手段として自律航行技術を活用したいです。願わくば、大阪が自律運轉の首都、先進都市として海外の方に認識されるようアピールしていきたいと考えています。

事業内容

自律航行技術の開発・販売

主な取引先(納入先)

旅客船事業者

主な製品・サービス等

自律航行プラットフォーム
「エイトノット AI CAPTAIN」